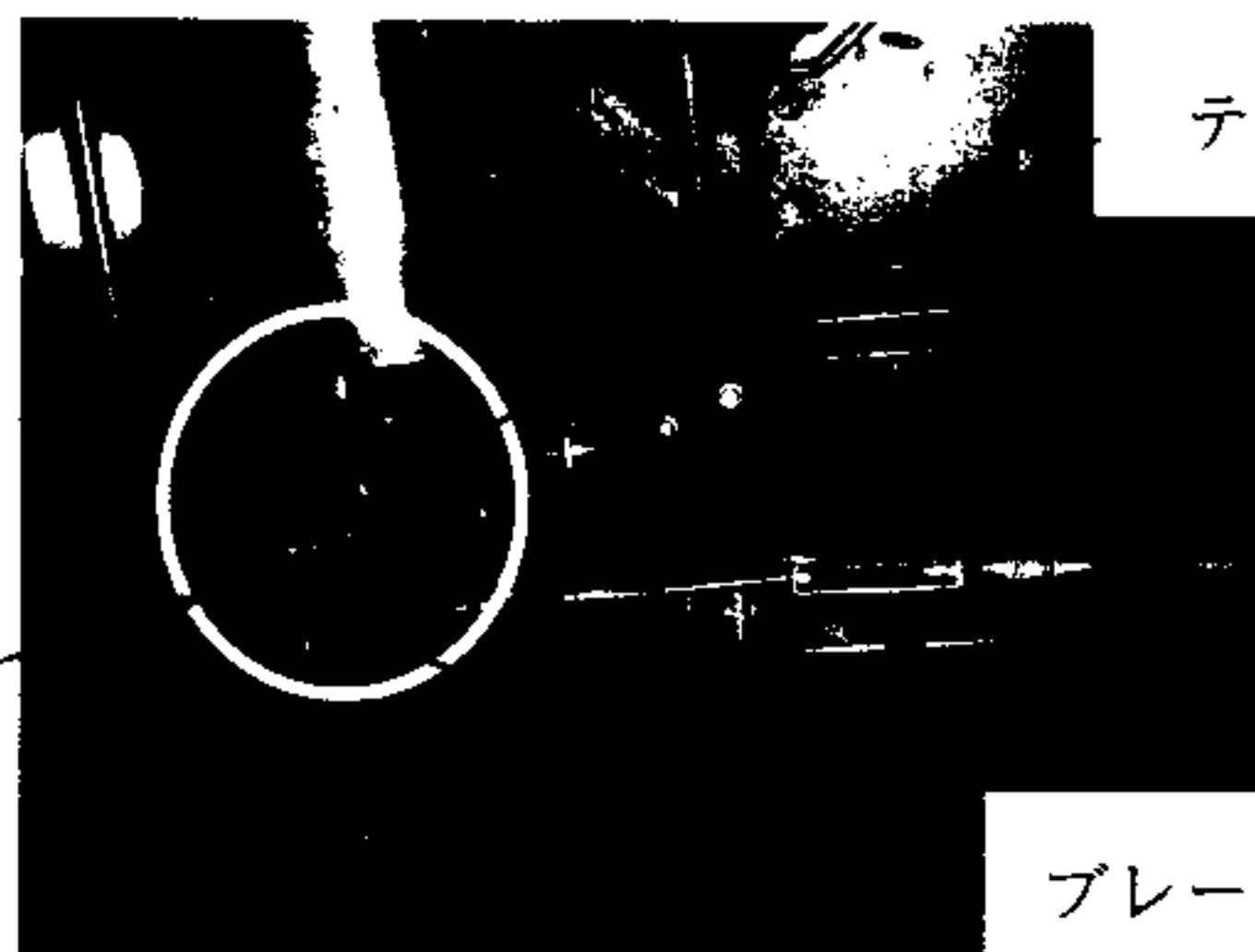


改善箇所説明図



テールパイプ

ブレーキパイプ

基準不具合発生箇所

車いすを収納する福祉車両の排気管において、主消音器（メインサイレンサー）後方のテールパイプの強度が不十分なため、長時間のアイドリング状態での使用を繰り返し行った場合、当該テールパイプのフランジ部に亀裂が発生し、そのままの状態で使用を続けると、テールパイプが破断してブレーキパイプと干渉し、最悪の場合、ブレーキパイプに穴があき、ブレーキ液が漏れて制動力が低下するおそれがある。

改善前



テールパイプ変更

ブレーキパイプ

改善後



プロテクター追加

全車両、当該テールパイプを対策品と交換するとともに、万一、テールパイプが破断してもブレーキパイプと干渉しないように、リアフロアパンにブレーキパイプとの干渉防止用プロテクターを取付ける。

識別：プロテクターに黄色ペイントを塗布する。

注)  は交換部品を示す。